

2009年3月期 第2四半期決算 (2008年4月～9月)

決算説明資料

タイヨーエレクトロニクス株式会社

SEGA-SAMMY
GROUP

2008年11月

本資料に記載された将来の予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実な要素を含んでおり、将来における実際の業績は大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

会 社 名	タイヨーエレクトリック株式会社
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 英理子
本 社 所 在 地	愛知県名古屋市西区見寄町125番地
設 立	1973年7月11日
株 式 上 場	2001年4月11日(JASDAQ:6429)
事 業 内 容	パチンコ・パチスロ遊技機の開発、製造、販売
資 本 金	5,125百万円(2008年9月30日現在)
売 上 高	25,334百万円(2008年3月期)
経 常 利 益	1,636百万円(2008年3月期)
従 業 員 数	223名(2008年9月30日現在)
主 要 株 主	サミー株式会社(50.9%)、佐藤英理子(11.48%)



本社本館

1973年	アレンジボール機の製造及び販売を目的として名古屋市西区において太陽電子株式会社(現 タイヨーエレック株式会社)を設立
1982年	アレパチ第一号機発売開始
1988年	パチンコ第一号機発売開始
1996年	太陽電子株式会社をタイヨーエレック株式会社へ商号変更
2001年	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年	株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場 パチスロ第一号機発売開始
2006年	イトレックジャパン株式会社との共同開発機種発売
2007年	サミー株式会社との資本・事業提携締結 サミー株式会社の連結子会社化により、セガサミーグループ入り

時代のニーズを掴みながら常に「新しい物」を市場に送り出す！
アレパチ→パチンコ→パチスロとパチンコ総合メーカーへの展開を図る！

1989年「ワイワイワイ」

「一発機」が市場の勢力を占めていた中で、同等の出球感を実現させた**アレパチの最高傑作**！



1997年「CR海底天国7」

業界初10インチ大型液晶搭載。他社も一目置くほど業界を騒然とさせ、現在の大型液晶の先駆けとなる。



2004年「CRミンキーモモ」

初の著作権使用機として大規模なイベントを実施。演出のクオリティを重視した物作りを目指す。

2006年「CR萌えよ剣」

時代にマッチした萌え系をモチーフにしながら演出等のバランスをも備えたホールでの**高稼働実績機**。ハネデジでのブランド確立。



(C) 2002 RED／高橋留美子
(C) 2002 ENTERBRAIN INC.
(C) 2005 萌えよ剣製作委員会

2007年「マーベルヒーローズ」

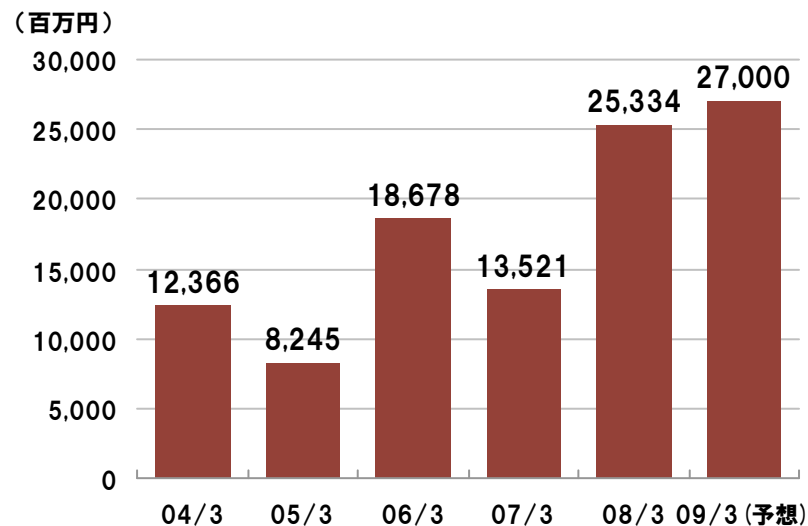
5号機第二弾でのパチスロヒット機種。スロット転換期でのゲーム性が若者ユーザーのニーズを捉えた一作となった。

2007年「伝説の巫女」

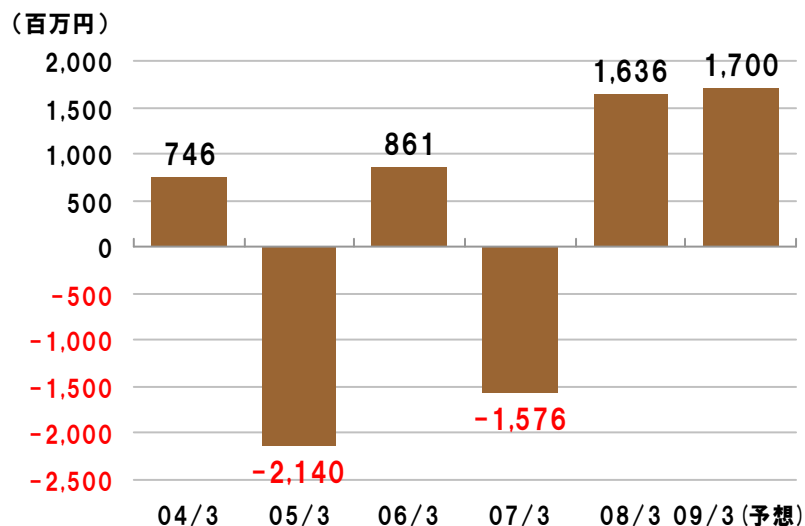
提携効果実現！ サミー・イトレックとのコラボ作品。5号機第三弾目でタイヨーエレクトクのパチスロブランドを確立。



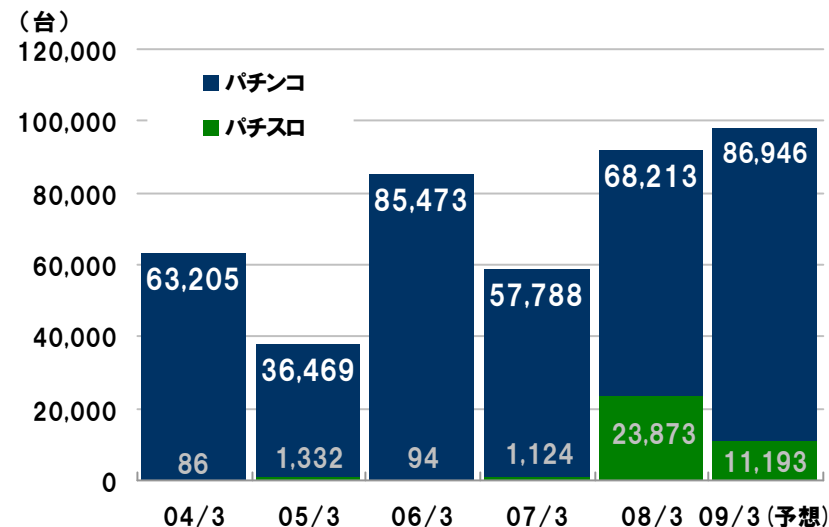
売上高



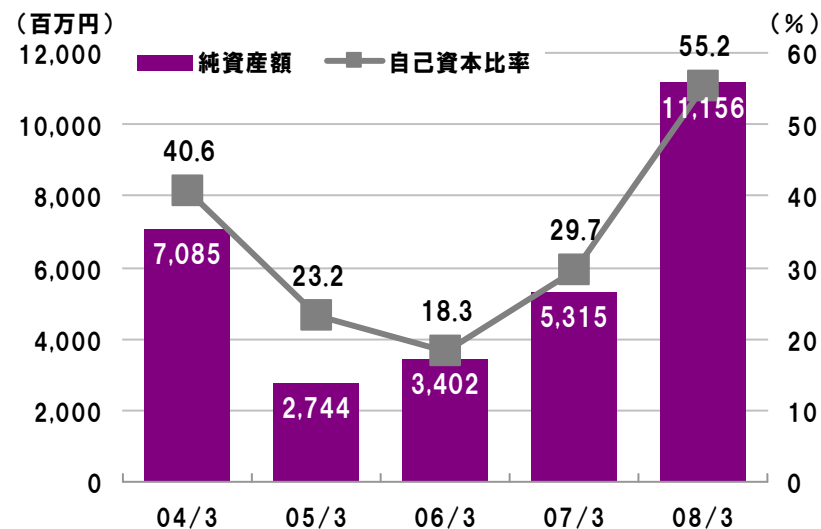
経常利益



販売台数



純資産額・自己資本比率



コンテンツの強み

- ① ゲーム及びアニメの世界観を忠実に再現。
- ② 更なる成長に向け、有力版權を積極的に取得。



スペックの強み

- ① 「ハネデジのタイヨーエレクト」確固たるイメージを確立。
- ② さらにスーパーハネデジ等、常に新しいスペックを追求。



組織の強み

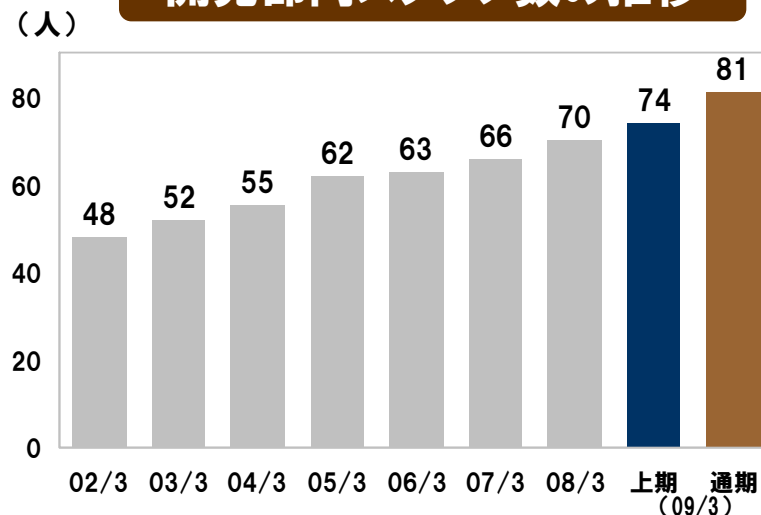
- ① 企画から完成まで妥協を許さない少数精鋭の開発体制。
年間8機種を市場投入(過去実績)。
- ② 外部リソースを有効活用し、協力会社との連携を強化。



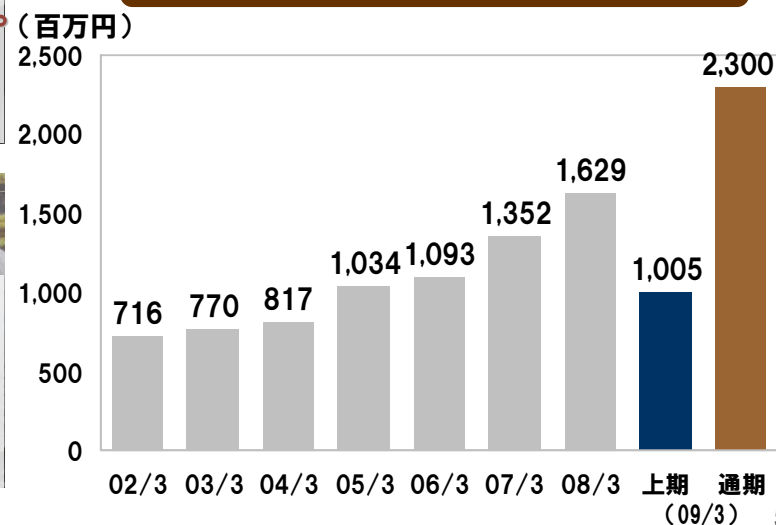
業界初の強み

- ① 1982年にアレパチを考案し市場投入。
(代表作:「ワイワイワイ」)
- ② 1997年に10インチ大型液晶を搭載し市場投入。
(「CR海底天国7」)

開発部門スタッフ数の推移



研究開発費の推移



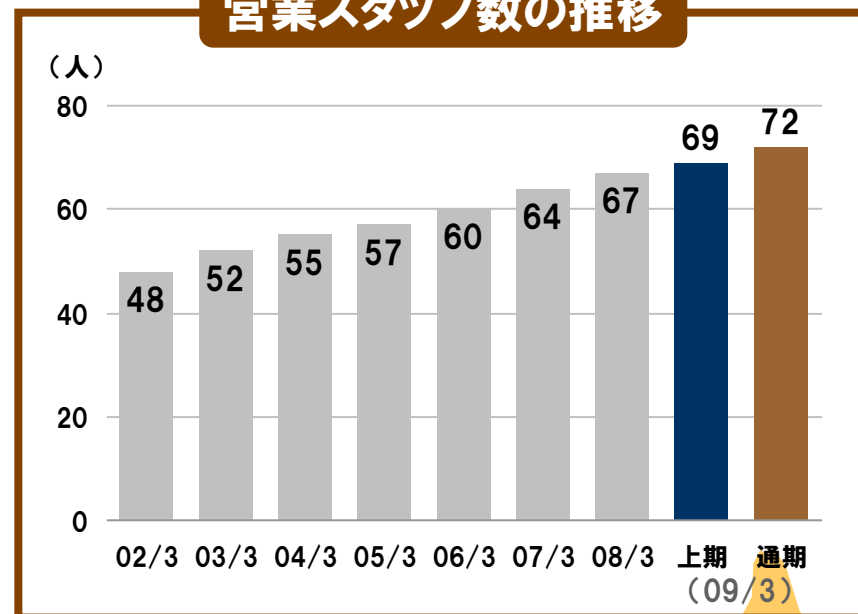
フィードバック体制の構築

ホール様、ユーザー様からの声をダイレクトに製品開発へフィードバックするため、また、製品ご導入後の万全なるアフター体制を構築するため、全国に事業所を展開（全国10拠点）。

トータルプロデュース提案営業の推進

パチスロ市場の本格参入を果たし、パチンコだけでなくパチスロを含めたトータルプロデュースを目指す。お客様に対して効果的・効率的な提案営業を推進。

営業スタッフ数の推移



全国のホール様に密着し、最新のトレンドをいち早くキャッチ。



販売台数

- パチンコ機販売は、一部機種 of 計画未達・販売時期の遅れなどが発生したが、「CRサムライチャンプルー」の販売が堅調であったことから、前年同期程度の販売実績となった。
- パチスロ機販売は、1機種あたりの販売数は期初計画を下回ったが、下期に予定していた1機種を上期に投入することにより、2機種合計で計画台数以上を販売した。

	08/3期上期	09/3期上期	増減額	期初上期予想
パチンコ機販売台数	26,577台	26,946台	+369台	40,000台
パチスロ機販売台数	12,926台	6,193台	▲6,733台	5,000台
合計販売台数	39,503台	33,139台	▲6,364台	45,000台

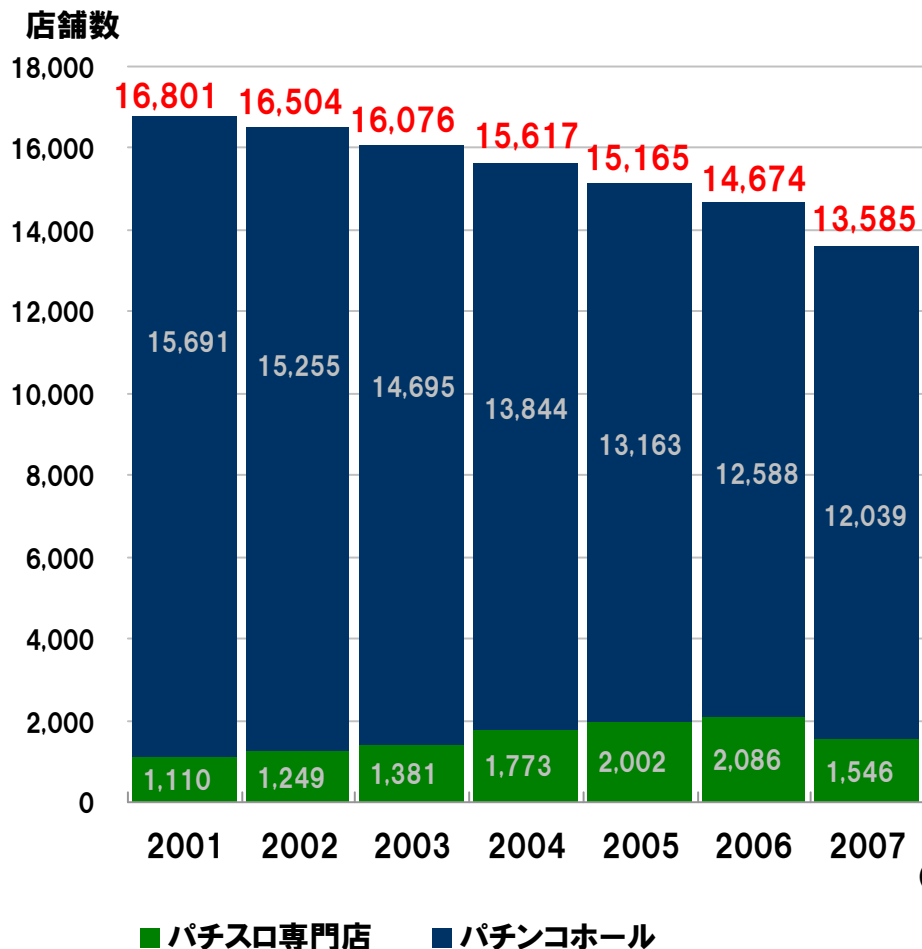
業績

- 上記販売状況より、売上高は減少したが、経費削減等のコスト削減に努めたことにより、各利益においては、前年同期並みの利益を確保するとともに、計画値を上回った。

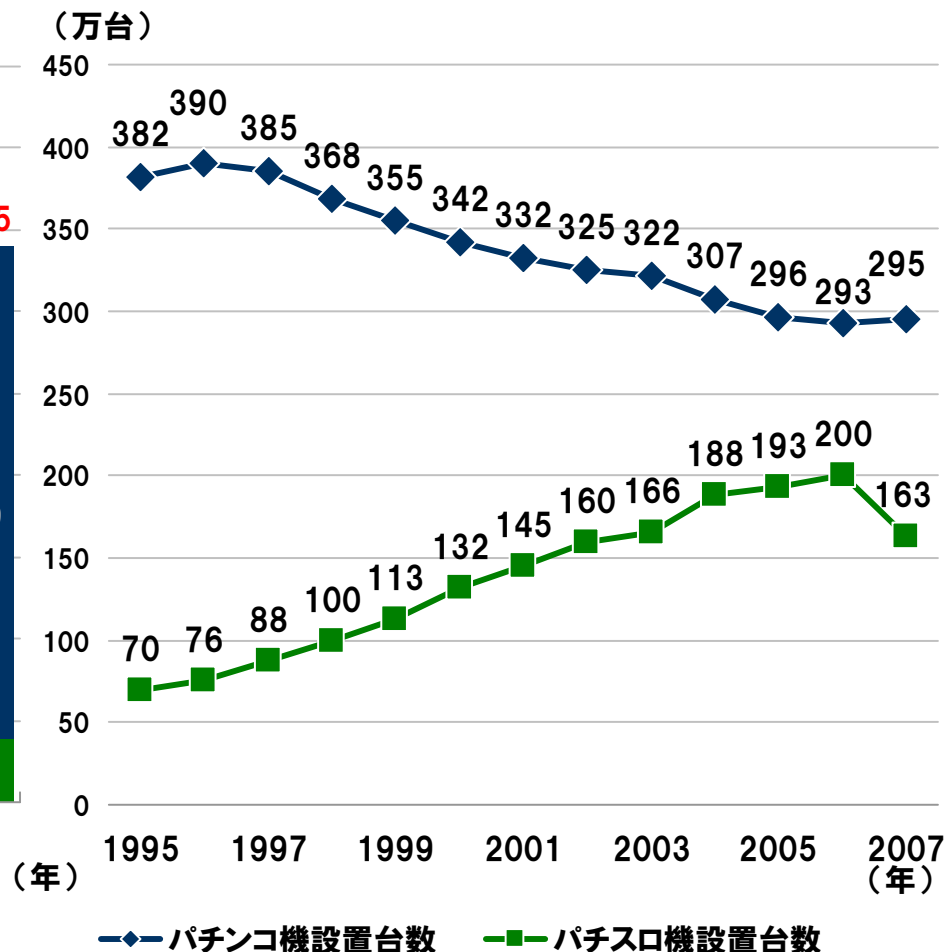
(単位:百万円、%)

	08/3期上期	09/3期上期	増減額	期初上期予想
売上高	11,147	9,360	▲1,787	11,500
営業利益	404	342	▲62	300
経常利益	398	399	+1	300
四半期純利益(累計)	282	354	+72	250

パチンコホール・パチスロ専門店の店舗数推移



パチンコ機・パチスロ機の設置台数の推移



出所: 矢野経済研究所

Copyright TAIYO ELEC All Rights Reserved.

版権・スペック・演出・サウンド、時代のニーズを掴みながら常に「新しい物」を創造。

‘08年5月 「CRサムライチャンプルー」

新たに描き起こした3DCGに加え、
原作アニメ素材をふんだんに使用。
「サムライチャンプルー」の独特な
世界観をパチンコ機で完全再現！



©2004manglobe/下井草チャンプルーズ

‘08年8月 「CRエルビスプレスリー」

数々の驚異的な記録を樹立し、
世界を熱狂させた伝説のエンターテナー
「エルビスプレスリー」とのタイアップ。
パチンコ機とパチスロ機を融合させた
新感覚のゲーム性を提案。

‘08年9月 「CR匠の道」

イトレック共同開発第三弾。
完全オリジナルストーリーで
個性溢れるキャラクター達による、
明快で爽快な演出を追求。最強コラボの決定版。



‘08年5月 パチスロ「熱血硬派くにおくん」

ゲームの世界で人気を博し、
大暴れしたくにおくんが連続性と継続性を秘めた
驚異のART「熱血チャンス」をひっさげてパチスロ
に登場！

BGMには横浜銀蠅の名曲
「ツツパリHigh School Rock'n Roll(登校編)」
を使用！！

‘08年8月 「パチスロ機動新撰組 萌えよ剣」

パチンコの大ヒット機種が、
今度はパチスロで登場！
パチンコの演出に加え、
新基準に対応したフリーズ機能など、
パチスロならではの演出を追加。



©2002 RED/高橋留美子 ©2002 ENTERBRAIN, INC.

更なる飛躍、製品の品質向上、株式の信頼性向上

組織変更（生産本部 新設）

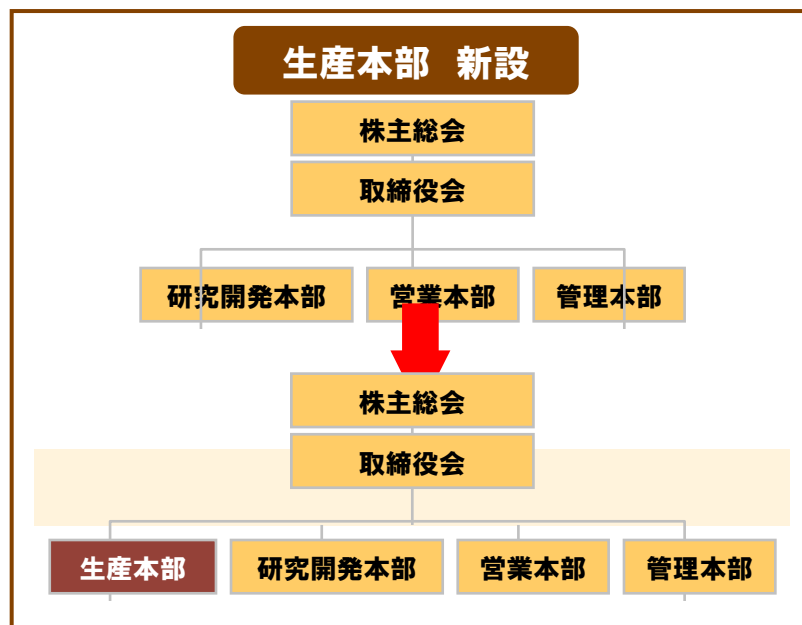
生産体制強化のため「生産本部」新設、生産本部・研究開発本部・営業本部・管理本部の「4本部体制」とする

豊橋工場 操業開始

パチスロ機製造工場。品質向上と製造能力アップに対応

株式の制度信用銘柄選定

ジャスダック証券取引所により制度信用銘柄に選定



当社の一翼担う豊橋工場

日産 1,000台



<2008年7月操業開始>

株式の 制度信用銘柄 選定

当社株式の

- ①信頼度
 - ②認知度
 - ③取引のしやすさ
- 向上

(単位:百万円、%)

	2008/3上期		2009/3上期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
売上高	11,147	100.0	9,360	100.0	△1,787
パチンコ機(新台)	6,077	54.5	3,116	33.3	△2,961
パチンコ機ゲージ盤(面替)	629	5.7	4,178	44.6	3,549
パチスロ機	4,402	39.5	1,882	20.1	△2,520
その他	37	0.3	183	2.0	146
売上原価	7,999	71.8	6,443	68.8	△1,556
売上総利益	3,147	28.2	2,917	31.2	△230
販売費及び一般管理費	2,743	24.6	2,574	27.5	△169
営業利益	404	3.6	342	3.7	△62
営業外損益	△6	0.0	57	0.6	63
経常利益	398	3.6	399	4.3	1
特別損益	△108	△1.0	△20	△0.2	88
法人税等	7	0.1	24	0.3	17
四半期純利益(累計)	282	2.5	354	3.8	72
パチンコ・シリーズ数	3シリーズ		3シリーズ		
パチンコ・販売台数	26,577台		26,946台		
パチスロ・シリーズ数	1シリーズ		2シリーズ		
パチスロ・販売台数	12,926台		6,193台		

(単位:百万円)

	2008/3末	2008/9末	増減額	主な増減内容
流動資産	17,005	13,313	△3,692	
現金及び預金	9,836	8,816	△1,020	仕入に係る支払手形の決済。
受取手形・売掛金	3,886	3,501	△385	
たな卸資産	3,036	803	△2,233	パチスロ機在庫の減、厳密な在庫管理。
固定資産	3,192	3,333	141	
有形固定資産	2,266	2,432	166	品質検査設備の増強
無形固定資産	30	36	6	
投資その他の資産	895	864	△31	
資産合計	20,197	16,646	△3,551	
流動負債	8,135	4,407	△3,728	
支払手形・買掛金	5,224	1,815	△3,409	仕入に係る支払手形の決済。
短期借入金	1,800	1,500	△300	有利子負債の圧縮。
固定負債	905	914	9	
負債合計	9,040	5,321	△3,719	
純資産合計	11,156	11,324	168	
負債・純資産合計	20,197	16,646	△3,551	

販路拡大

- 互いの営業ノウハウを共有した全国ホール様への積極的アプローチ
- ブランド独自性を維持したマルチチャネル販売(パチスロ伝説の巫女にて実践済)

IPの育成・創造

- 両社保有版權の有効活用・両社協調による有力版權の取得
- セガサミーグループ・オリジナルIPの創造・育成への参画

広告宣伝強化

- 各種媒体での効率的なグループ広告宣伝展開
- アンテナショップ展開などによるホール様との関係強化

部材共通化

- サミー製パチスロ筐体を使用したパチスロ開発加速化
- パチンコ・パチスロ部材共通化によるコストダウン

リユース

- 環境に配慮したリユース部材の拡大
- サミーグループ各社との共同リユーススキームの構築

品質強化

- サミーと連携した強固な品質検査体制の構築
- ホール様に対する万全なるアフター体制の強化

新市場創出

- 両社共有のパイオニア精神に基づき、業界活性化・多様化を促進する新市場を創出



2008年2月28日 業務提携記者説明会

中長期

- 【IPの育成・創造】グループ保有版權を用いた機種の開発・投入
- 【リユース】共同リユーススキームの構築
- 【品質強化】品質情報の共有・グループ連携によるアフター体制の構築
- 【新市場創出】業界の活性化・多様化に向けた製品開発

今後～

- 【部材共通化】サミー製筐体を使用したパチスロ機の投入(今期製品投入予定)
- 【部材共通化】汎用電子部材(液晶等)の共通化(今期製品投入予定)
- 【広告宣伝強化】ノウハウの共有による主力機種 of 広告宣伝実行(今期実施予定)
- 【新市場創出】(株)サミーネットワークスと連携した携帯・PCコンテンツ事業展開

提携～これまで

- 【販路拡大】パチスロ「伝説の巫女」のサミー社ルートでの販売
- 【財務強化】サミー(株)に対する第三者割当増資
- 【品質強化】パチスロ豊橋工場の立ち上げ(グループリソース有効活用)



【独自性の拡大】ソフト開発力・全国営業力

タイヨーエレクトクの強みをグループ・プラットフォーム上で集中強化

ソフト開発力の強化

- 独自の開発手法を強化・発展
- ゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性の追求
- パイオニア精神による他社との差別化を徹底
- リソース(開発者・開発費)の拡大

全国営業力の強化

- 長年培ってきた直販先・販社との連携強化
- 法人戦略/エリア戦略の構築
- 広告宣伝強化によるブランド力向上
- リソース(拠点・営業マン・宣伝費)の効率的運用

【提携戦略】成長へのプラットフォームを構築

ハードの利用

- サミー製パチスロ機筐体の利用
- 液晶等電子関連汎用部材の共通化
- リユース体制の構築

情報の共有

- 販売ノウハウの共有
- 広告宣伝ノウハウの共有
- 製品品質検査体制の構築

コンテンツの活用

- グループ保有著作権の有効活用
- グループ力による有力著作権の取得
- 携帯サイト等コンテンツ二次展開

(単位:百万円、%)

	2007/3期		2008/3期		2009/3期(予想)						
	実績	構成比	実績	構成比	上期実績	構成比	下期予想	構成比	通期予想	構成比	増減額
売上高	13,521	100.0	25,334	100.0	9,360	100.0	17,640	100.0	27,000	100.0	1,666
営業利益	△1,536	△11.4	1,657	6.5	342	3.7	1,358	7.7	1,700	6.3	43
経常利益	△1,576	△11.7	1,636	6.5	399	4.3	1,301	7.4	1,700	6.3	64
当期純利益	△1,654	△12.2	1,423	5.6	354	3.8	1,146	6.5	1,500	5.6	77
パチンコ・シリーズ数 パチンコ・販売台数	7シリーズ 57,788台		6シリーズ+萌えよ剣 68,213台		3シリーズ 26,946台		2シリーズ+匠の道 60,000台		5シリーズ 86,946台		
パチスロ・シリーズ数 パチスロ・販売台数	1シリーズ 1,124台		2シリーズ 23,873台		2シリーズ 6,193台		1シリーズ 5,000台		3シリーズ 11,193台		